

PRESS RELEASE



ラオスの行政官らが沖縄で妊産婦および新生児に対する 支援手法を学びます





国立大学法人琉球大学は、JICA 沖縄の草の根技術協力の支援を受け、ラオス南部にあるサバナケット県セポン郡の妊産婦と新生児の健康改善に 2023 年 4 月から取り組んでいます。このたび、本プロジェクトとしては初めてラオスの行政官を沖縄に招き、研修を行います。

ラオスは 5 歳未満児死亡率が 1,000 人あたり 44.1 人(UNICEF・2020 年)と東南アジア諸国で最も高く、 妊産婦への保健指導・支援を担う「村落保健ボランティア」の役割が非常に重要です。本プロジェクトではボランティア人数を増やし、専門的かつ地域の実情に合わせた適切な指導が行えるようになることを目指しています。

今回、村落保健ボランティアたちの育成・取りまとめを担う郡保健局の行政官らが、沖縄県内での妊産婦・新生児の保健指導・支援の手法を学ぼうと、以下の日程で来日研修を行います。研修では、妊産婦・新生児ケアに力を入れている医療機関を訪問し、保健師・母子推進員らの実際の活動を見学・意見交換を行います。

ラオスの厳しい状況改善に貢献する、琉球大学の取り組みとラオス行政官らの学びを、ぜひご取材ください。

研修期間:2024年2月18日(日)~2月23日(金)

<滞在中の主な日程> *変更される場合がございますので、取材は事前にご相談ください

2/19(月)~2/20(火):(浦添市)JICA 沖縄

2/21(水) : (豊見城市)友愛医療センター ほか

2/22(木) : (西原町)琉球大学

取材をご希望の際は、下記連絡先へ2月14日(水)までにご連絡ください。

【本件に関する問合せ先】

JICA 沖縄 市民参加協力課 草の根技術協力班(担当:平山)

TEL:098-876-6000(代表) E-mail: oictpp@jica.go.jp



PRESS RELEASE



【参考】

本事業の Facebook: https://www.facebook.com/profile.php?id=100093153535987

琉球大学医学部保健学科 HP(本事業の紹介):

ラオス国保健研究強化 | 琉球大学 医学部保健学科 国際地域保健学教室 (okinawaghealth.com)

琉球大学医学部保健学科学生が作成した異文化理解動画:

保健学科学部生 7 名がラオス国母子保健プロジェクトを訪問、動画教材を作成 | 琉球大学医学部保健学科 / 琉球大学大学院保健学研究科 (ryudai-igakubu-hokengakka.com)